

りんご樹体内に食入したヒメボクトウ幼虫の効果的な防除方法

【1 成果の概要】

- (1) フェンプロパトリンエアゾル剤(商品名;ロビンフッド)は、フラス(虫糞と木屑の混じったもの)を排出している食入孔にノズルを差し込んで数秒間噴射することで、ヒメボクトウ幼虫に対して高い防除効果を示します。
- (2) 蛹に対する効果は低いので、蛹化が始まる6月上旬以前に使用すると高い防除効果が得られます。



図1 食入孔へのエアゾル剤の噴射(容器は製品と異なります)

表1 ヒメボクトウ幼虫に対するフェンプロパトリンエアゾル剤の防除効果

供試薬剤	虫糞排出箇所数		樹体分解調査(頭数)				
	処理前 (6/28)	5日後 (7/3)	生幼虫	死幼虫	殺幼虫率 (%)	生蛹	死蛹
H25							
フェンプロパトリン エアゾル剤処理	45	0	0	43	100	9	0
無処理	49	44	63	0		12	0
供試薬剤	虫糞排出箇所数		樹体分解調査(頭数)				
	処理前 (6/11)	6日後 (6/17)	生幼虫	死幼虫	殺幼虫率 (%)	生蛹	死蛹
H26							
フェンプロパトリン エアゾル剤処理	53	2	35	143	80.3	2	1
無処理	47	45	100	0		0	0

【2 留意事項】

- (1) 噴射しながらノズルを食入孔に差し込む等、木屑や虫糞がノズル先端に詰まらないように注意して使用してください。
- (2) 平成25年および27年に示した、フルベンジアミド水和剤による幼虫の防除と併用することで、ヒメボクトウによる被害を根絶可能です。

担当研究室 環境部 病理昆虫研究室

〒024-0003 北上市成田20-1

TEL. 0197-68-4424 FAX. 0197-71-1085